

小石原川ダム防災操作による河川水位低減効果

独立行政法人^{みずしげんきこう}水資源機構が管理する小石原川ダム（福岡県朝倉市）では、8月11日からの降雨により増水した河川水のほぼ全量をダムへ貯め込み「防災操作」を行いました。

この防災操作により、小石原川ダムの下流約22kmにある^{さかえだばし}栄田橋地点では、ダムが無い場合と比べ河川水位を推定で約0.83m低減させ、河川水位が氾濫危険水位を超えることを回避できました。

今回の防災操作

筑後川水系小石原川の小石原川ダム流域では、九州北部付近に停滞した前線に伴う豪雨により、8月11日から15日までの流域平均総雨量812.5mmの降雨を記録しました。

小石原川ダムでは、試験湛水により貯水位が低く空き容量が多い状況であったことから、降雨予測を踏まえ、ダムへ流入する河川水をほぼ全量貯め込みました。

その結果、この降雨により最大で毎秒約142立方メートルの河川水の流入がありましたが、ほぼ全量をダムへ貯め込んだことで、下流河川の水位が氾濫危険水位を超えることを回避できました。

※ 今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。



令和3年8月25日

独立行政法人^{みずしげんきこう}水資源機構 筑後川局

配布先	
国土交通省九州記者会	九州建設専門記者クラブ
久留米市政記者クラブ	佐賀県政記者クラブ
西日本新聞朝倉支局	読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局	朝日新聞太宰府支局

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 筑後川局 企画調整課長 前田
住所：福岡県久留米市東町42-21
電話：0942-34-7001
HPアドレス：<https://www.water.go.jp/chikugo/>

小石原川ダム位置図

福岡県朝倉市江川 地先

※筑後川中流部（河口から約 40km 地点）に流入する小石原川の約 25 km 地点

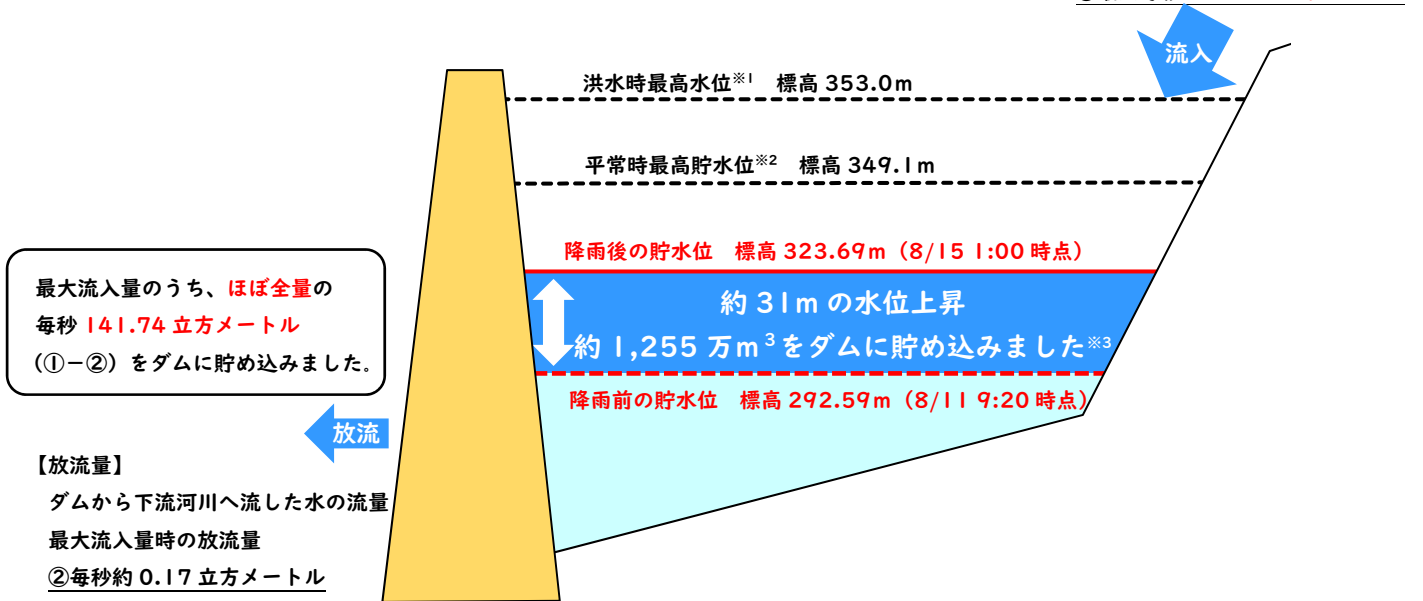


小石原川ダムの洪水時防災操作

【流入量】

ダムに流れ込んだ水の流量

①最大毎秒 141.91 立方メートル



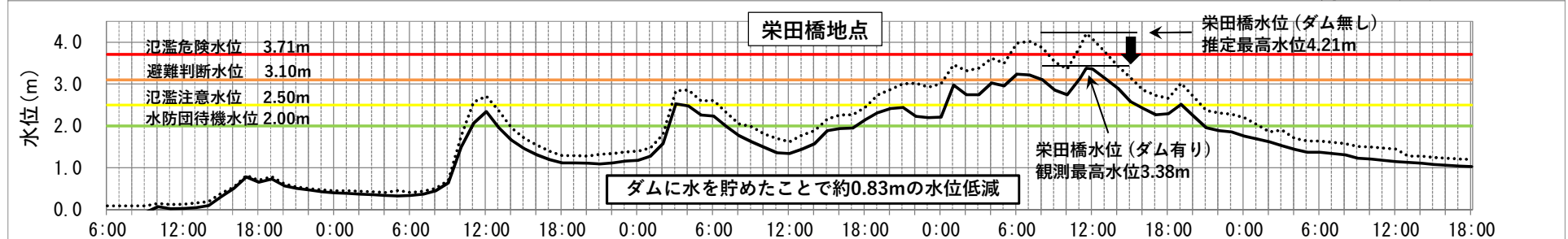
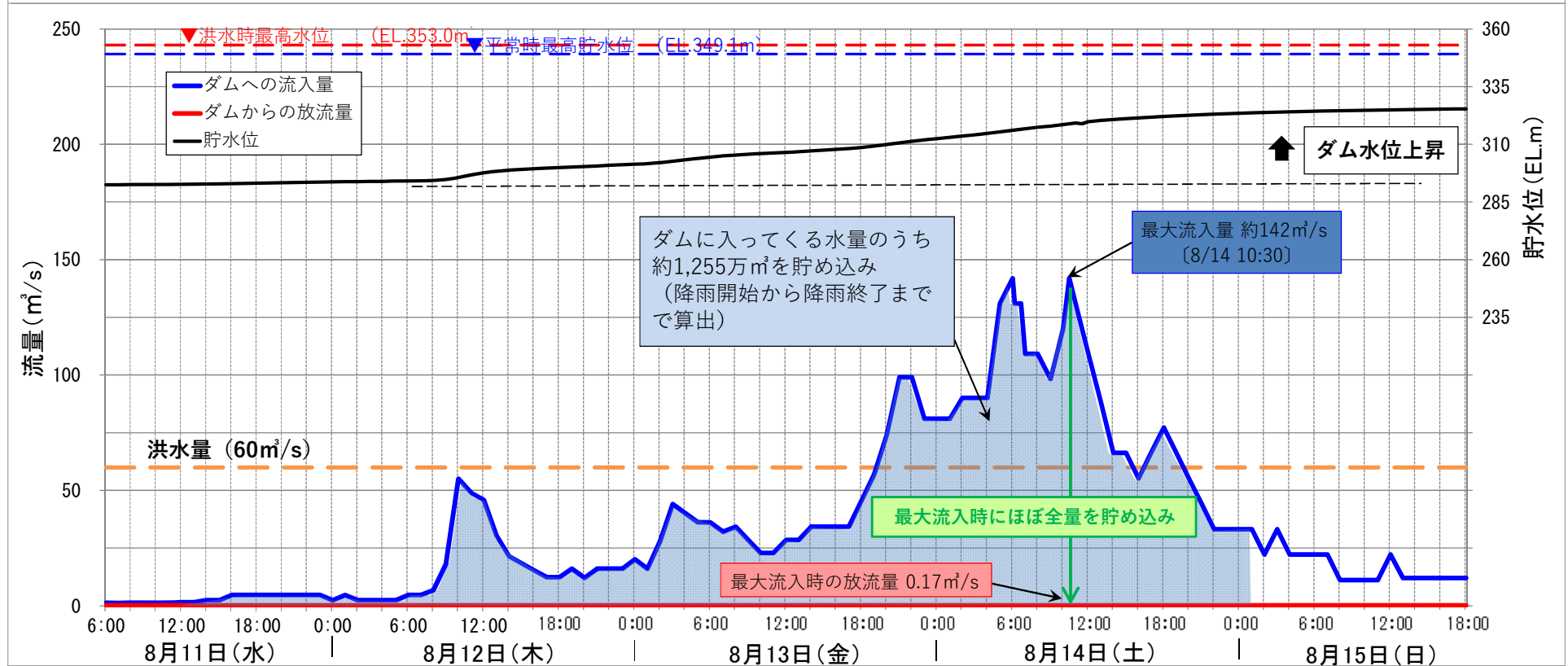
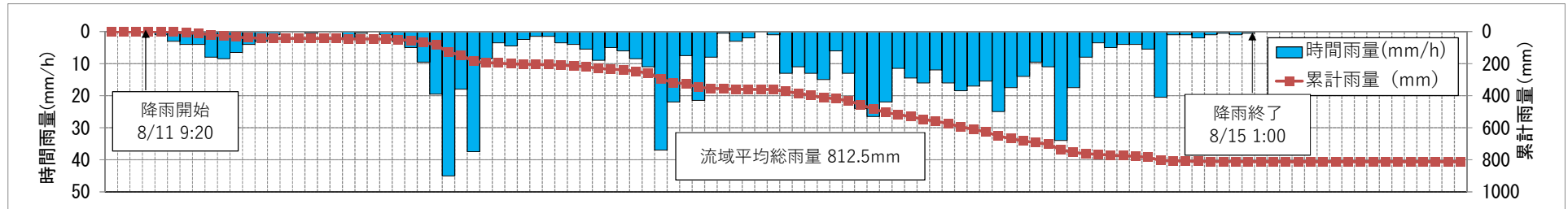
※¹ 洪水時最高水位 : 洪水時にダムによって一時的に貯め込むこととした流水の最高水位

※² 平常時最高貯水位 : 平常時にダムによって貯め込むこととした流水の最高水位

※³ 降雨開始から降雨終了までにダムへ貯めた量

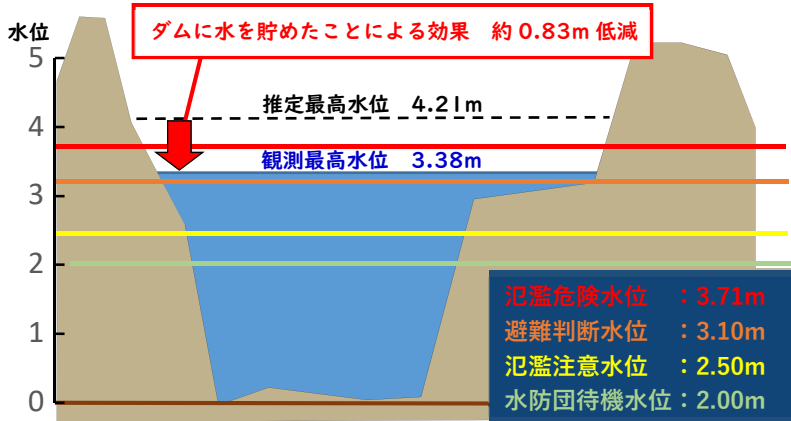
※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

小石原川ダム防災操作図 令和3年8月11日～15日



ダム貯留によるダム下流河川水位低減効果

栄田橋水位観測所地点 河川断面図（イメージ図）



【栄田橋水位観測所地点】

- ①ダムがなかった場合、推定で氾濫危険水位 3.71m を超える **最高水位 4.21m**（氾濫危険度 レベル4以上）まで上昇する見込み。
- ②小石原川ダムで貯めたことにより、氾濫危険水位 3.71m 以下の **最高水位 3.38m**（氾濫危険度 レベル4以下）まで抑えることができた。

ダム貯留によるダム下流水位低減効果

①－②＝4.21m－3.38m＝**0.83m 低減**



河川水位の標記については
国土交通省 HP「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」

栄田橋水位観測所地点 現地写真（8月17日13時撮影）



栄田橋水位観測所地点 現地写真（洪水前）

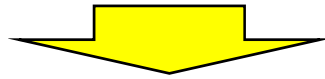


小石原川ダム貯水状況

降雨前



撮影日時：令和3年8月11日 13時
撮影時の貯水位：EL.292.73m



降雨後



撮影日時：令和3年8月16日 14時
撮影時の貯水位：EL.326.44m